



文化センターの「つぶやき」ならぬ「ぼやき」で文化センターへの旅を…

あなたに聞きたい!



よしざき さちこ
吉崎 幸子さん

最近文化センターに素敵なチョークアート看板が飾られていることにお気づきでしょうか?今回は作者のチョークアート作家 吉崎幸子さんにお話を伺います。キッズアートの活動や秋に控えた展示会についてもお聴きしました。

文化センター(以下文)・チョークアートを始めたきっかけは何だったんですか?

吉崎幸子(以下吉)・わたしもともと飲食店をやったんで。飲食店をやったときに、黒板になんかもうちよとポツポツに描けんかなと思って。十八年位前ですかね、ちょうどチョークアートが日本に入ってきて。うちの黒板にも描きたいと思って。

でも教室とかもないし、独学で始めてお店に飾っているうちにウエディングボードとか描けるんですかとか、ワンちゃんとか描けるんですかという話が出てきて。

文・今のようにするには独学で?

吉・そうですね。もともと、犬とか猫とか描けたらいいなって思ってたんだけど、チョークアートやったら何でも描けないとあかんかなと思って、最初はずつといるんなものを描いてたんです。ウエディングボードとか似顔絵とか。看板とかメニューボードとか。何年か前に。ペットだけの専門になりました。

文・もともと絵を描くのが好きだったんですか?

吉・“好き”くらいですね。それを別に仕事にしていたわけではないし、専門学校行ったとか美大

行ったとかそんなでもない。でもやつぱり、これに出会ってからです。チョークアートが、それが自分にはまった。つてやつでしようね。

文・(独学は大変じゃなかったですか?)

吉・速回りですよ。習ったわけじゃないし。でも、アートつて別に習わない方がいいんかなって思いますが。いま、子どもたちのアートを教えない教室みたいなのをやってるんですけど。あんまり、習わんほうがいいのかなって。その先生の形になっちゃうつていうか。

以前はチョークアート教室もずつとやつて。でもなんとなく、みんなが似てしまう。でコロンを機に止めたんです。(チョークアート教室は。)

文・これから制作だけやつて。

吉・チョークアートの魅力ってどんなところでしよう?

吉・魅力はやっぱり、“手描き”つていうのがいい。ばんなかな。特に動物のチョークアートだと表情とかも、描く人で全然変わってくる。そういう魅力が伝わりやすいですね。手描きで描くから。特に今、ペット関係ばかりやつてるんで、そうするとやつは飼主さんの思いとか。そんなのもすくあるんで、私としてはやりがいがあるのかなつて感じます。

今は年間三百くらい描きますね。一匹描こうと思つたら、二時間はかからないです。

文・それはすごい!吉崎さんが特別早いんですか?

吉・早いと思います。もともとレストランやりながらやつていて。空いている時間がすく貴重だったから。その時間にやるつていう。そういう癖がついて。

文・描いているところを見てみたいです。チョークアートは下書きとかは?

吉・(いろいろと実演してください)下書きは、さーつとして。これ指で描いていくんですね、チョークアートつて。筆とかじゃなくて、全部こやつて指で。チョークつて言つてもオイル、ステルつていう画材なんです。クレヨンみたいな画材なんです。

文・こやつて、温かみのある、生命力のある絵が出来るんですね。文化センターのチョークアート看板もお客様の目を引いて、フォトスポットになっています。

吉・写真とはまた違ったものがね。記念にした

いとか、ただただ描いて欲しいとか、そんな依頼が多いです。

文・(最近取り組まれているキッズアートプロジェクトについて)お子さんの教室を始めてるじゃないですか?それはまた何故ですか?

吉・ちよつと話が長くなるけど。娘が五年生くらいから学校行けなくなつて。あの子ども動物がめっちゃくちゃ好きで、絵が好き。ちっちゃいときから。自分で描いたりしてたんやけど。なんかその動物が苦しそうな顔をしてたり、上手いんだけど、なんだかちよつと辛い絵ねつて思つて。で、学校に行けなくなつちやつて。

そこから突然、アクリル絵の具を欲しいつて言つて。すーい絵を描き始めたんです。それで若狭のきらりアートの公募展を知つて、アクリル作品を初めて応募してみたら、児童の部で大賞をいただいたんです。

ようやく何か認められた、評価された!みたいな感じで。娘も認められてどんどんポイントが溜まつていったみたいになつて。それから、すくいろいろな絵を描くようになって。動物の絵ですけど。障がい者アート協会でスマホのケースに採用されたりして。それで絵がわつて広がつたんです。「あ、これいいんやーみたい娘も思つて。そこからどんどん描きだしたんです。

結局、娘のそういうのを見てきて、他の子どもたち見ると、みんな一緒なんじゃないかなと思つて。いやもう普通に学校行って!つて言つたら娘はこういう風にはならなかつた。そういう分かれ道がみんなあるんだけど、型に嵌めることで、その子の本来持つる可能性もつぶしてしまつていふのがあるなあと思つて。

それで(キッズアートプロジェクト)を始めたんです。テーマなしの、好きなものをやろうつて。ここに素材を好きなだけ使つていいから、絵の具も使い放題、ここは素材も使い放題。ここは、形がないんで。型に嵌めないやり方でやれば、最低でもここに時間は解放されるんじゃないかなと思つて。もともとはやつぱり娘のことがあつて、まああつとみんないっしょになつて。うん。いろんな子の場所になつたらいいなあって思つて。

文・この活動を知つたかつたとか、今も知りたつていう人、求めている方がたくさんいらつして欲しいですね。なんか気軽に聞きましてが……(胸がいつばいで言葉がでない)

吉・あはははは(笑)この間も展示会やつて、(子どもたちの作品を)いつばい飾つて。みんな嬉しそうに。「なんか俺のいいじゃん」、「わたしのいいじゃん」みたいな。

文・子どもどきに認められたつていう経験つて大事ですよ。

吉・めつちや大事。それをすく娘で痛感したから。あのとき、大変でしたよ。いろいろ。大変やつたけど、やつてきてよかつたなつて思つて。

うち(キッズアートプロジェクト)は、親の口出し禁止にしてるんです。付き添いはいいけど、お母さんのじゃやないから自由にさせてつていう。大人のほうが口出ししたくなるのは、勝手な自分の正解というか、結果を見ちゃうから。でもその過程を見て欲しいんです。やつてる途中を。期待しやない方がいいんです。応援はしていいけど、期待しない方がいいですね。

しつつけとかそこまでしなくても、ちゃんとわかりますよ、子どもは。人間なんてちゃんと生きます。

文・(言葉をかみしめる。最後に十一月にギャラリー・叔羅で開催予定の親子展について、どういうところを観てほしいですか?)

吉・娘の作品と私の作品と、描くもの好きなのは一緒なんだけど、タッチの違い、アートの違いを楽しんでもらえると思つて。わたしも今からすつちに向けて気合い入れないよ。

文・初めての親子展の会場が叔羅なのは、大変光栄です。

吉・真面目に取り組んでるんで(ここに)。そういうことが伝わればいいなつて思つて、伝わると思つて。

創作のあれこれをお聴きするつもりですが、様々な経験を越えてきた深いお話が胸に響きました。明るくおらかな雰囲気、これだと思つたら駆け抜ける行動力!そのお人柄に魅了されました。親子展に向けて、スタツプも気合が入ります!

『吉崎幸子・莉菜 親子展』の詳細は、裏面をご覧ください。みなさまのお越しをこころよりお待ちしております!!





松竹大歌舞伎

日時: 2025年11月21日(金) 14時開演

会場: 越前市文化センター大ホール

入場料: 一般 8,000円 当日 8,500円

友の会 7,500円 (全席指定)

出演: 中村又五郎、中村歌昇、中村種之助、
中村種太郎、中村秀乃介

演目: 一、泥棒と若殿(山本周五郎作)

二、花競芝居 賑 お祭り

友の会先行発売 8月23日(土)

一般発売 8月30日(土)

越前市文化センターで久しぶりの大歌舞伎公演です。

友の会会員様への先行発売もいたします。

話題の映画でも注目を集める歌舞伎公演をお近くで
ご覧いただけます。この機会にぜひお楽しみください!!

開催決定!!



葛西聖司

歌舞伎プレセミナー こちらも開催!!

日時: 2025年10月4日(土) 14時開演

会場: 越前市文化センター小ホール

入場料: 一般 500円

友の会会員無料(ご本人のみ、要整理券)

元 NHK アナウンサーで古典芸能解説者として活躍中の葛西聖司さんに今年の歌舞伎上演演目の見どころや、歌舞伎初心者の素朴な質問を、映像や音楽を使ってわかりやすく解説して頂きます。

飯田洋輔コンサート 2025

「The DOORS」

日時: 2025年11月18日(火) 18:30 開演

会場: 越前市文化センター大ホール

入場料: 一般 9,000円 友の会 8,500円(全席指定)

★チケット好評発売中!

福井県越前市出身。劇団四季で長年第一線を走り続け、ミュージカルの金字塔『レ・ミゼラブル』(2024-25年公演)でジャン・バルジャン役を熱演した俳優・飯田洋輔さん。東京・大阪に加え、故郷 越前市での凱旋コンサート決定。子どものころから親しんだ越前市文化センターでの凱旋公演。必見です!



越前市ふるさとギャラリー叔羅 吉崎幸子・莉菜 親子展

会期: 2025年11月1日(土)

~11月9日(日)

※休館日 11月4日(火)

時間: 10:00~18:00

(最終入館 17:30 最終日 16:00)

会場: ふるさとギャラリー叔羅

★入場無料

チョークアートと動物画の親子展示。会期中、ワークショップの開催も予定しております。ともにアートの世界で活躍中のふたりの初めての親子展。それぞれの作風をお楽しみください。



※昨年の市民音楽祭のようす

越前市文化センタージュニア合唱団

こうのとりの日記

いっしょにうたおっさー♪

こうのとりの合唱団は、9/21『越前市民音楽祭』と9/27『越前市施行20周年記念式典』に出演するために、暑い夏もがんばって練習しています!

どちらも越前市文化センターが会場です。みなさん観に来てください♪

新しい仲間もいつでもウェルカム! 見学に来てみてくださいね。

お気軽に越前市文化センターまでお問合せください。



※越前市文化センター事業の案内は、ホームページに掲載しています。

<http://www.jigyodan-city-echizen.jp/bunka>

※Bunvoya!掲載の全ての講座・催しについては越前市文化センターまでお問合せください。

<発行・編集> 2025年8月 越前市文化センター 越前市高瀬2丁目3-3 TEL:0778-23-5057 FAX:0778-21-1975

Bunvoya!は越前和紙を使用しています